



2025年6月期第3四半期 決算説明会資料

株式会社インテリジェント ウェイブ

2025年5月9日

2025年6月期3Q 業績と成果

2025年6月期 業績予想

中期経営計画進捗

参考資料

2025年6月期 3Q累計 業績サマリー

- 売上高は、主力の決済領域は堅調に推移し、セキュリティ領域は大手顧客への製品導入等があり増収
- 利益は、クラウドサービスとセキュリティの粗利率が低下し、前期を下回る
- 受注残高は、クラウドサービス、セキュリティ、インフラ運用サービス等のストック案件を中心に増加

単位：百万円

	24年6月期3Q累計		25年6月期3Q累計		増減	前同比
	金額	売上比	金額	売上比		
売上高	10,751	-	11,530	-	+778	+7.2%
売上総利益	3,478	32.4%	3,533	30.6%	+54	+1.6%
販売管理費	1,982	18.4%	2,088	18.1%	+105	+5.3%
営業利益	1,496	13.9%	1,445	12.5%	△50	△3.4%
経常利益	1,503	14.0%	1,460	12.7%	△43	△2.9%
四半期純利益	1,027	9.6%	1,024	8.9%	△2	△0.3%
受注高	13,773	-	16,133	-	+2,360	+17.1%
受注残高	13,995	-	21,187	-	+7,191	+51.4%

2025年6月期 3Q累計 売上高（事業領域別）

- 決済領域は、FEP・不正検知分野は、既存顧客のシステム更改や、クラウドサービスのユーザー数増加等により増加。その他分野は、既存顧客の案件数が一時的に減少
- セキュリティ領域は、大手顧客への製品導入等により増加
- データ通信・分析基盤領域は、証券会社向けシステム開発等により増加

単位：百万円

	24年6月期 3Q累計	25年6月期 3Q累計	増減	前同比
売上高	10,751	11,530	+778	+7.2%
決済	8,960	9,452	+491	+5.5%
FEP	4,061	4,091	+30	+0.7%
不正検知	1,148	1,866	+717	+62.5%
アクワイアリング	2,208	2,191	△16	△0.7%
その他	1,542	1,302	△239	△15.6%
セキュリティ	1,207	1,481	+274	+22.7%
データ通信・分析基盤	583	597	+13	+2.3%
参考) クラウドサービス	1,799	2,508	+709	+39.5%

* FEP（Front-End Processor）システム：クレジットカード決済処理に必要なネットワーク接続やカードの使用認証等の機能をもつハードウェア、及びソフトウェア

2025年6月期 3Q累計 売上高（顧客別）

- 「DNP」は、セキュリティ製品導入など、セキュリティ関連の売上が増加
- 2、3位のクレジットカード会社向け大型案件は、開発フェーズの移行により減少
- 5位のカード会社は、新規領域の売上が増加

単位：百万円

	24年6月期 3Q累計	25年6月期 3Q累計	増減	主な案件
1. DNP	1,332	1,439	+106	・ TSP開発（スマートフォン決済） ・ システム運用（24/365） ・ 暗号鍵管理システム、セキュリティ製品導入
2. システム開発会社	1,205	839	△366	・ クレジットカード会社向けシステム開発等
3. システム開発会社	479	682	+202	・ クレジットカード会社向けシステム開発等
4. カード会社	741	668	△73	・ 複数領域におけるシステム開発等 （FEP・不正検知、決済DX）
5. カード会社	450	582	+131	・ 複数領域におけるシステム開発等 （FEP・不正検知、決済DX）

2025年6月期 3Q累計 売上高（製品カテゴリ別）

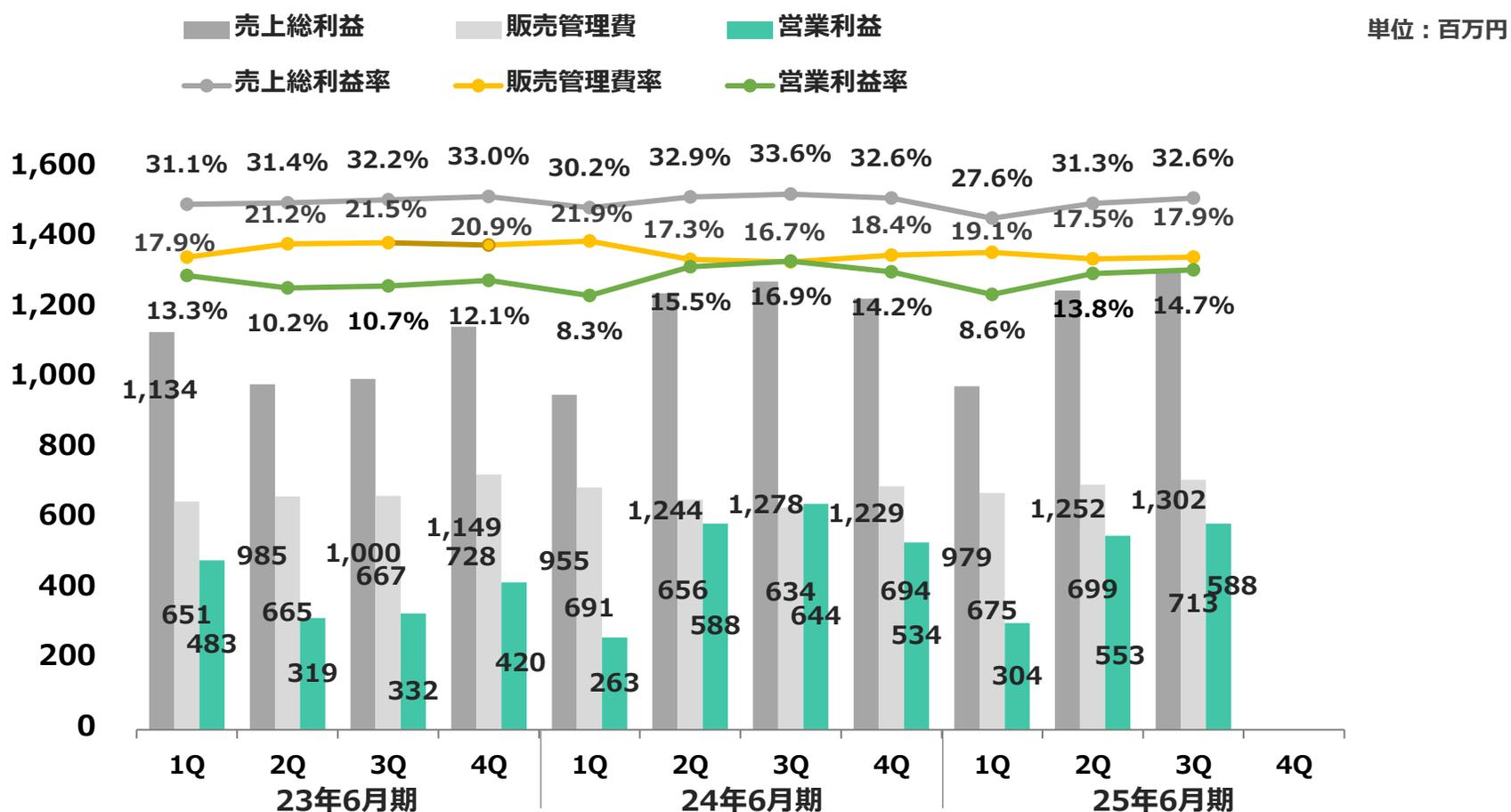
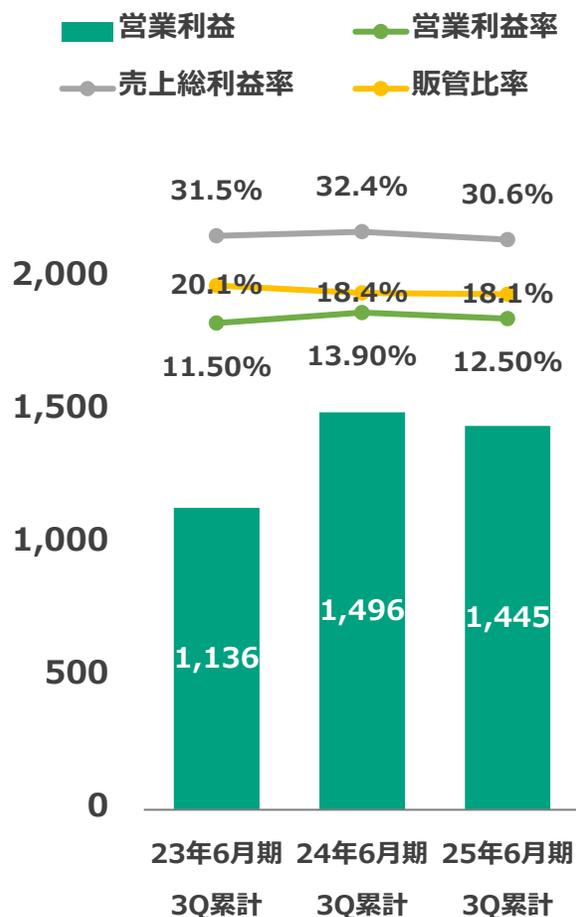
- システム開発は、大型案件の開発フェーズの移行により減少するが、既存顧客の更改案件等により増加
- クラウドサービスは、ユーザー数増加や、既存ユーザーの機能追加等により増加
- セキュリティは、大手顧客への製品導入等により増加

単位：百万円

	24年6月期 3Q累計	25年6月期 3Q累計	増減	前同比
売上高	10,751	11,530	+778	+7.2%
システム開発	5,114	5,135	+20	+0.4%
保守	1,210	1,195	△14	△1.2%
自社製品・サービス	229	346	+117	+51.2%
他社製品（ハードウェア等）	1,191	863	△328	△27.6%
クラウドサービス	1,799	2,508	+709	+39.5%
セキュリティ	1,207	1,481	+274	+22.7%

2025年6月期 3Q累計 営業利益

- 売上総利益は、システム開発や保守の粗利率は堅調に推移したが、クラウドサービスのインフラ費用増加や、セキュリティ領域の製品構成の影響により、粗利率は低下。引き続き、クラウドサービスのインフラ・運用コストの低減や、システム開発や保守の生産性向上、提供価値に見合った価格の見直し等による、粗利率改善を進める
- 販売管理費は、主に人件費が増加したが、販管費率は低下



2025年6月期 3Q累計 クラウドサービス

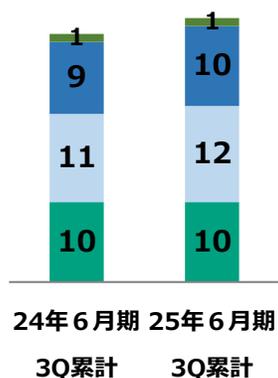
- 売上高は、IFINDSのユーザー数増加や、IOASISの既存ユーザーの機能追加、IGATESの新規リリース等により増加
- 売上総利益は、インフラ費用が増加しているが、インフラ・運用コストの低減や、提供価値に見合った価格の見直しによる粗利率の改善に取り組む

単位：百万円

	2024年6月期				2025年6月期			
	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q
受注高	614	969	890	2,761	1,618	1,932	466	
売上高	592	587	618	705	718	809	981	
受注残高	6,717	7,098	7,371	9,426	10,326	11,449	10,935	
売上総利益	96	84	94	75	△20	128	178	

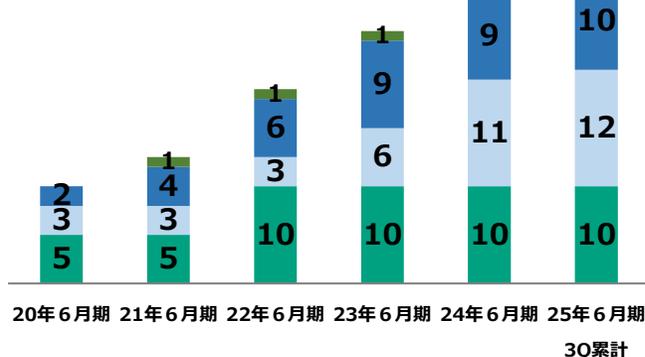
■ 導入社数

■ IOASIS ■ IFINDS
■ IGATES ■ IPRETS



■ 各サービスの概況

サービス名	概況
■ IOASIS	既存顧客の機能追加、取引量増加対応等が増加。新規では地銀を中心に引き合い増加
■ IFINDS	カード不正利用のAI分析データを共有する「FARIS共同スコアリングサービスPowered by PKSHA Security」の導入社数が増加。次世代不正対策プロジェクト「FARIS」において、順次新サービスを投入
■ IGATES	大規模の業界横断の共同利用型プラットフォーム開発が、2025年1月にリリース

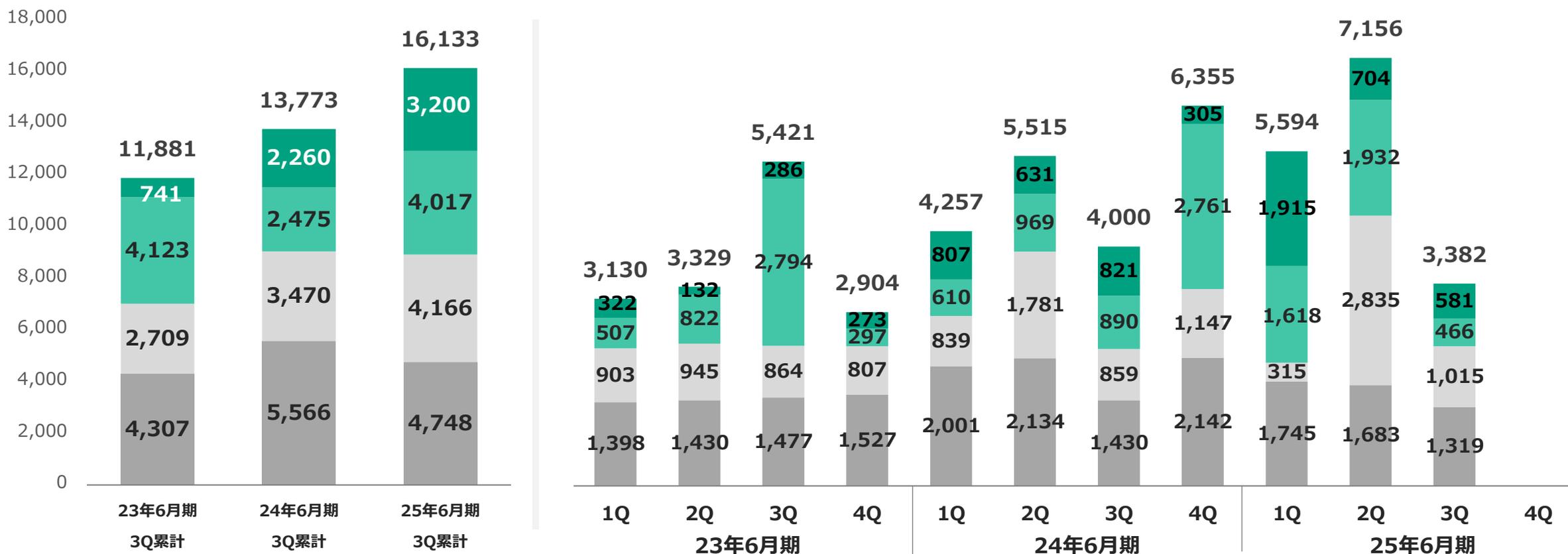


受注高（製品カテゴリ別）

- クラウドサービス、セキュリティ、金融機関向けインフラ運用サービスなどを中心に、受注高は増加
- システム開発は、クレジットカード会社向け大型案件の開発フェーズの移行や、既存顧客の一時的な投資抑制等により減少。中期経営計画に掲げるアクワイアリング分野を中心とした決済領域の拡大に向け、提案活動中

■ …システム開発 ■ …保守、自社製品・サービス、他社製品（ハードウェア等）
■ …クラウドサービス ■ …セキュリティ

単位：百万円

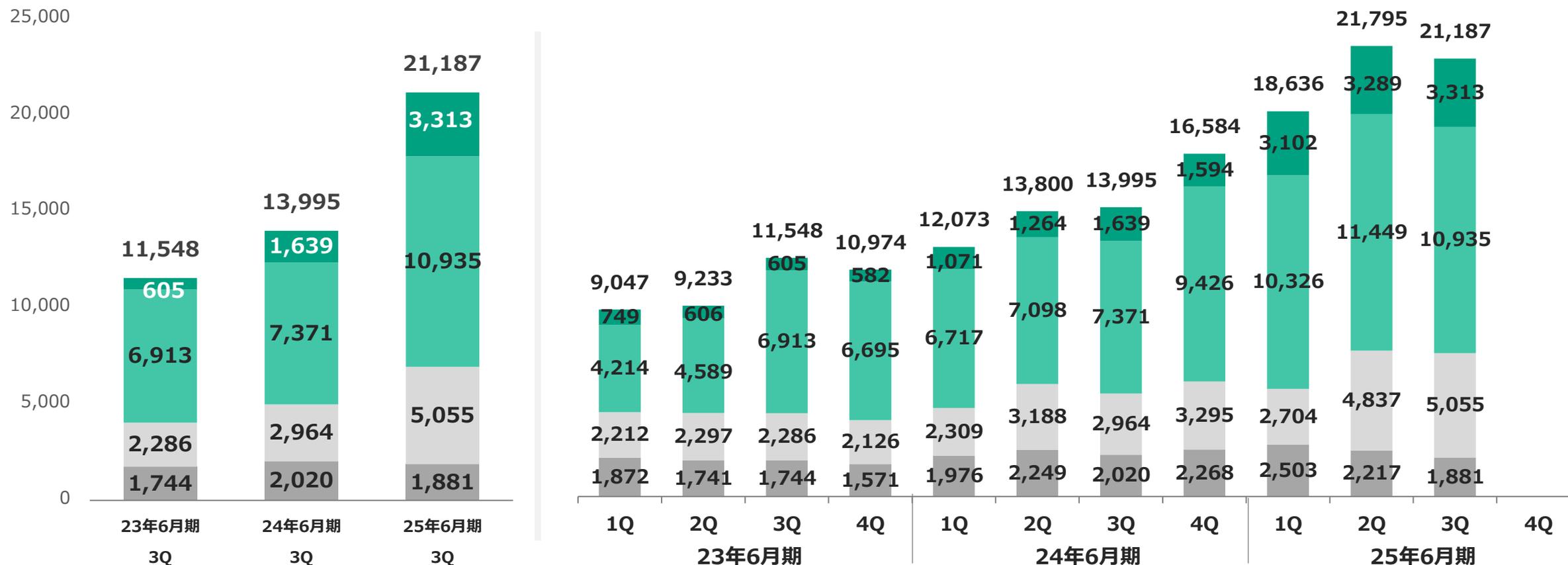


受注残高（製品カテゴリ別）

■ クラウドサービス、セキュリティ、金融機関向けインフラ運用サービス等のストック案件を中心に増加

■ …システム開発
 ■ …保守、自社製品・サービス、他社製品（ハードウェア等）
■ …クラウドサービス
 ■ …セキュリティ

単位：百万円

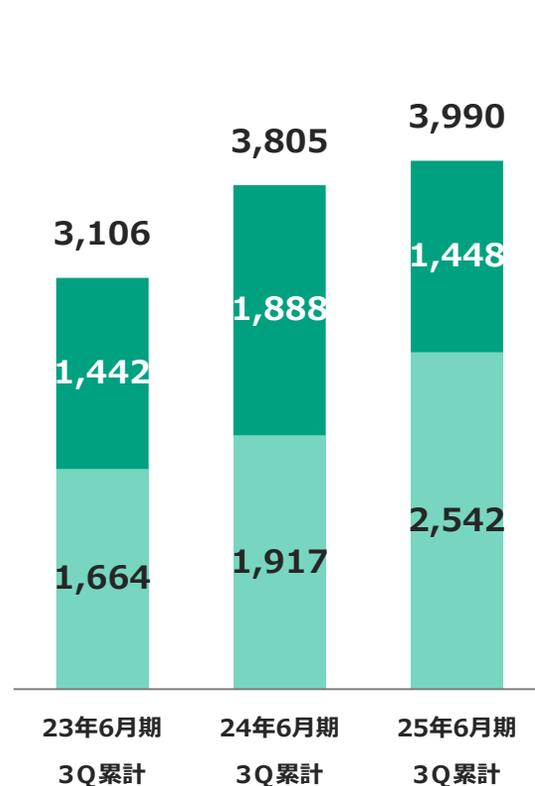


ストック/フロー別の売上高・受注残高

■ ストック/フロー別 売上高

■ …ストック ■ …フロー

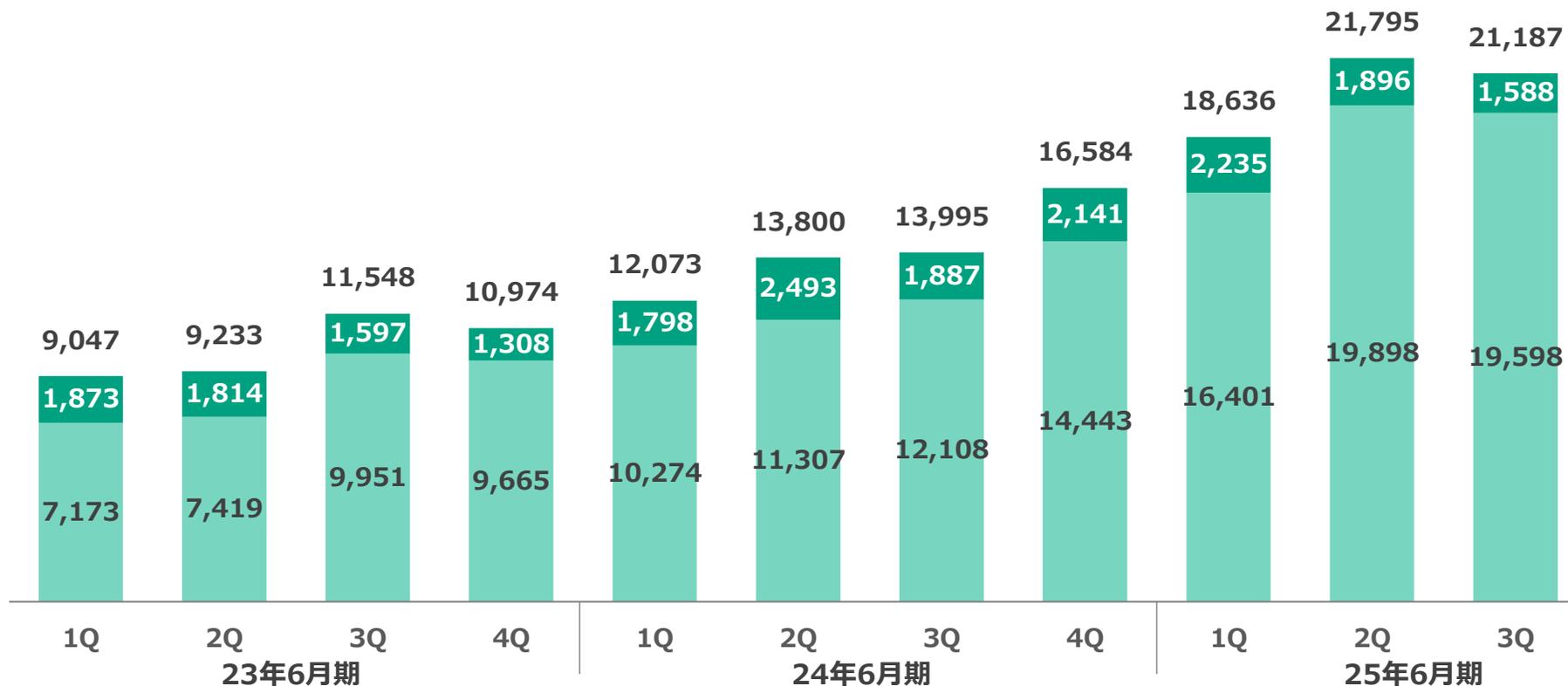
単位：百万円



■ ストック/フロー別 受注残高

■ …ストック ■ …フロー

単位：百万円



ストック：契約の形態や業務の実態等から判断して、定常的に一定規模の売上高を計上できる案件
 (クラウドサービスやセキュリティ製品の利用料、自社サービス、システム運用保守、自社製品や他社製品の保守等)
 フロー：契約の規模や成立時期が定常的ではない案件 (システム開発、自社製品や他社製品の販売等)

2025年6月期3Q 業績と成果

2025年6月期 業績予想

中期経営計画進捗

参考資料

2025年6月期 業績予想（事業領域別）

単位：百万円

	24年6月期実績			25年6月期予想			対前期比
	上期	下期	通期	上期	下期	通期	前同比 (通期)
売上高	6,946	7,572	14,518	7,500	8,500	16,000	+10.2%
決済	5,784	6,366	12,151	6,140	6,810	12,950	+6.6%
セキュリティ	757	800	1,558	930	1,170	2,100	+34.8%
データ通信・分析基盤	403	404	808	430	520	950	+17.5%
営業利益 (率)	852 (12.3%)	1,178 (15.6%)	2,030 (14.0%)	860 (11.5%)	1,390 (16.4%)	2,250 (14.1%)	+10.8%
経常利益 (率)	859 (12.4%)	1,212 (16.0%)	2,072 (14.3%)	880 (11.7%)	1,410 (16.6%)	2,290 (14.3%)	+10.5%
当期純利益 (率)	584 (8.4%)	835 (11.0%)	1,420 (9.8%)	610 (8.1%)	980 (11.5%)	1,590 (9.9%)	+11.9%

2025年6月期 業績予想進捗（事業領域別）

大型案件のリリース時期変更、一部顧客の投資計画の見直し等により、期初計画に対してやや進捗が遅れているが、大型案件の着実な遂行に加え、開発案件の積み上げや、生産性向上などを進め、計画達成に向けて取り組む

単位：百万円

	24年6月期実績			25年6月期予想			対前同比
	3Q累計	4Q	通期	3Q累計実績 ※①	4Q計画 (②-①)	通期計画 ※②	
売上高	10,751	3,766	14,518	11,530	4,469	16,000	+10.2%
決済	8,960	3,190	12,151	9,452	3,497	12,950	+6.6%
セキュリティ	1,207	351	1,558	1,481	618	2,100	+34.8%
データ通信・分析基盤	583	224	808	597	352	950	+17.5%
営業利益 (率)	1,496 (13.9%)	534 (14.2%)	2,030 (14.0%)	1,445 (12.5%)	804 (18.0%)	2,250 (14.1%)	+10.8%
経常利益 (率)	1,503 (14.0%)	569 (15.1%)	2,072 (14.3%)	1,460 (12.7%)	829 (18.6%)	2,290 (14.3%)	+10.5%
当期純利益 (率)	1,027 (9.6%)	393 (10.4%)	1,420 (9.8%)	1,024 (8.9%)	565 (12.7%)	1,590 (9.9%)	+11.9%

2025年6月期3Q 業績と成果

2025年6月期 業績予想

中期経営計画進捗

参考資料

2030年代を見据えて、事業の多角化と持続的な成長の基盤づくりに取り組む。決済、セキュリティ、テクノロジー領域を中心とした、さまざまな分野で積極的に事業を展開することで、人々の生活に価値をもたらし、新たな信頼性を創造していく

「Transformation for the Future」

- (1) 決済領域は、当社独自のプロダクトや決済業界におけるポジションを活かし事業領域を拡大することで持続的な成長を図る
- (2) セキュリティ領域を第二の事業の柱へと成長させる
- (3) コア技術を活用した、データ通信・分析基盤領域を、成長市場へ展開し、決済やセキュリティに続く、第三の柱を創出する
- (4) DNPグループとの連携をより進め、それぞれの顧客基盤を活用しながら事業競争力を強化、グループ・シナジーを創出する



IWIのコア技術：高速・大量のデータ通信/分析処理

2030年代の市場環境に向け、新たな信頼性を創造する製品・サービスを開発し続けていくため、「事業」「技術」「人財」の3つの“変革”に注力する



01 事業の変革

- ①既存事業と新規事業の価値最大化、保有ソリューションの価値最大化
- ②決済領域から新領域への事業拡大
- ③収益構造見直しによる収益性向上。プロダクト指向への回帰

02 技術の変革

- ①コア技術と最先端技術・DXとの掛け合わせによる優位性の確保、価値の最大化、価値の創出
- ②開発、保守、運用の合理化

03 人財の変革

- ①事業企画人財の育成、コンサル機能強化
- ②R&D機能の強化
- ③事業戦略に即した人財流動化

主力のFEP・不正検知分野の価値最大化や生産性の向上を進める一方、決済領域の拡大やシステム運用サービスの拡大に取り組む

既存事業の価値最大化

FEP主力製品「NET+1」の新バージョン開発

- ・ 開発工期の大幅短縮と拡張性を実現。クラウド化に対応
- ・ 既存顧客に導入済み製品を、順次新バージョンへ入れ替え

不正検知ソリューションの多角化

- ・ イシュー共同利用型ソリューションの導入社数増加
- ・ 業界横断型ソリューションの開発、他社との協業拡大
- ・ 既存製品の機能追加による付加価値向上



高生産性モデルへのシフト

- ・ 生成AI/ローコード/ノーコード開発の促進
- ・ 共通化、標準化の促進
- ・ システム運用の集約、効率化

新領域の拡大

FEP・不正検知分野からの領域拡大

- ・ アクワイアリング分野のさらなる拡大
- ・ 機能分割による基幹システムのモダナイズ、オープン化
- ・ 生成AIを活用したシステム更新対応の効率化

重点顧客の売上拡大

- ・ FEP・不正検知分野からの売上拡大
- ・ 事業企画/コンサル機能の強化

システム運用サービスの拡大

- ・ 金融機関向けインフラ運用サービスの大型案件が開始
- ・ 既存顧客のFEP・不正検知システムの運用拡大



▶ 既存領域から新領域への人財ローテーション、新領域の人財育成、リスキリングを推進

中期経営計画進捗（セキュリティ、データ通信・分析基盤領域）

セキュリティやデータ通信・分析基盤領域の事業規模拡大に取り組むとともに、R&Dにおいては、コア技術の転用やAIなどの先端技術の取り込みにより、決済・セキュリティ領域の自社プロダクト・サービスの機能拡張、システム開発・運用の効率化を進める

セキュリティ領域



自社プロダクト「CWAT」の拡販

- ・ 情報漏えい対策（DLP）分野における市場ポジション獲得
- ・ 新機能追加による製品の付加価値向上
- ・ 海外現地パートナーとの共創

エンドポイントセキュリティからの領域拡大

- ・ 脅威インテリジェンス製品の販売拡大

運用サービスの拡大

- ・ EDR製品の運用サポートサービスの提供
- ・ DNPグループによるSOCサービスの提供

データ通信・分析基盤領域



市場系システム分野の拡大

- ・ 証券フロント分野からの領域拡大
- ・ 大手証券や銀行・信託・生保等への顧客基盤開拓

コア技術を活用した領域拡大

- ・ CEP領域（複合イベント処理）において、放送業界に加え、当社コア技術の他業界への展開を検討

R & Dの取組み

- 既存事業の価値向上 ・ RAG/AIOPS/AIエージェントなどの既存プロダクト・サービスへの適用、新サービス企画
- 新事業立ち上げのための技術検証

中期経営計画進捗（セキュリティ）

DNPグループが提供するオールインワンのセキュリティBPOサービスに参加し、顧客基盤やビジネス領域の拡大に取り組む

■ DNPグループが提供するセキュリティBPOサービス

- ・ DNPグループが導入する自社のセキュリティ対策やそのノウハウを活かした支援サービス
- ・ コンサルティング、導入、監視・運用、教育とワンストップサービスの提供が可能



戦略1

DNPグループのセキュリティサービスに参加し、セキュリティ領域と顧客基盤を拡大

戦略2

リセール業務で培った技術力、ノウハウをもとに、コンサルやマネージド、教育へ業務範囲を拡大

当社のセキュリティ領域

- ・ 内部不正対策
- ・ ネットワーク対策
- ・ エンドポイント対策

DNPグループのセキュリティ領域

- ・ 公開IT資産管理
- ・ 脆弱性管理
- ・ 工場セキュリティ対策
- ・ 海外拠点対応
- ・ IR(インシデント)対応/フォレンジック

2025年6月期3Q 業績と成果

2025年6月期 業績予想

中期経営計画進捗

参考資料

2025年6月期 3Q 製造原価明細

単位：百万円

			24年6月期				25年6月期						
			1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q			
材	料	費	10	7	9	5	17	5	6				
労	務	費	745	744	737	718	770	747	751				
経		費	569	667	661	780	819	814	790				
外	注	加	工	費	1,085	1,124	1,163	1,151	1,064	1,032	969		
当	期	総	製	造	費	用	2,411	2,544	2,571	2,656	2,672	2,600	2,518
期	棚	首	仕	掛	品	高	216	269	227	275	206	383	243
期	棚	末	仕	掛	品	高	269	227	275	206	383	243	282
他	勘	定	振	替	高	434	532	539	503	385	429	271	
当	期	製	品	製	造	価	1,923	2,054	1,984	2,221	2,109	2,311	2,207

2025年6月期 3Q 販売費及び一般管理費

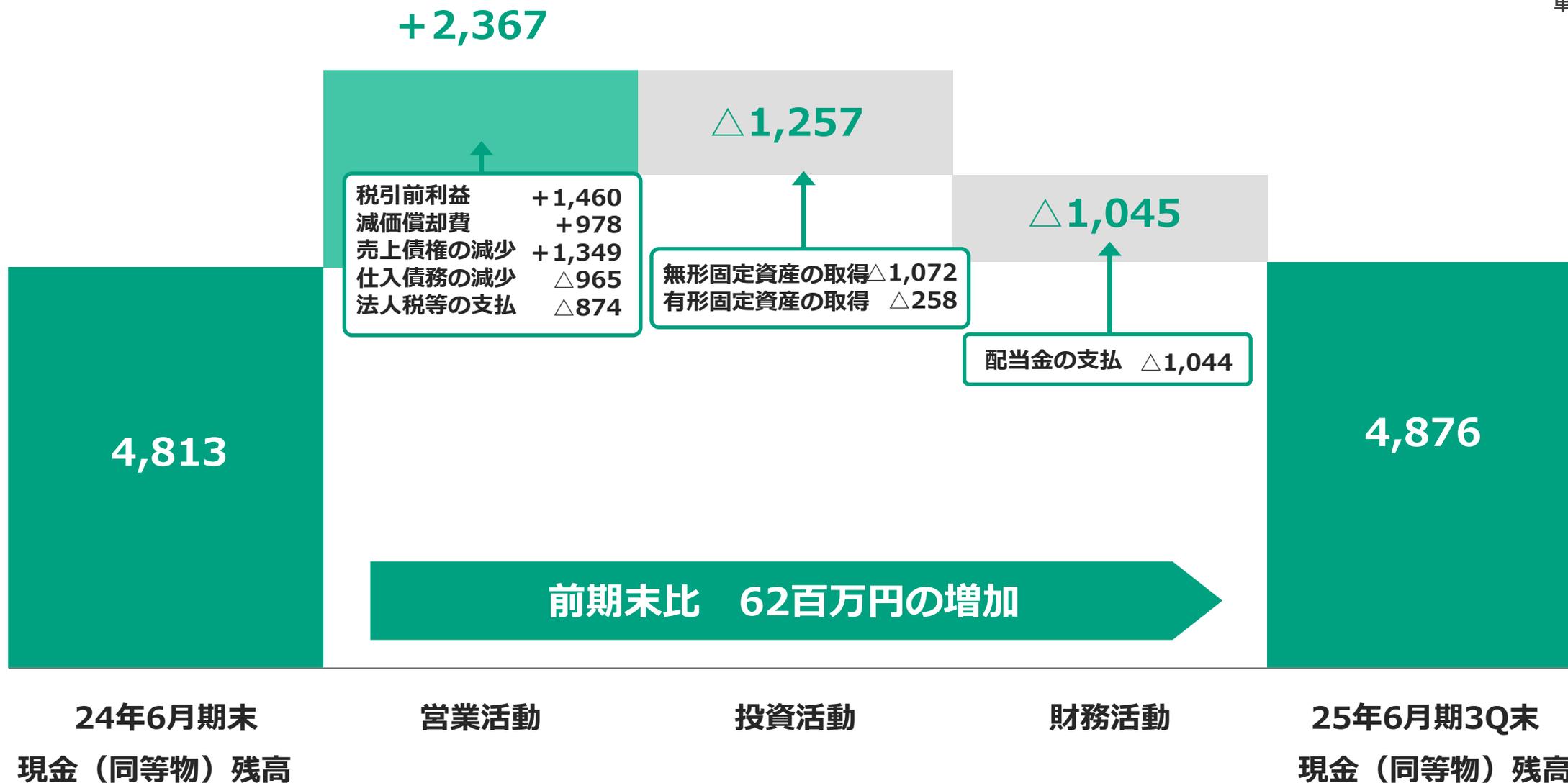
単位：百万円

	24年6月期				25年6月期			
	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q
人件費	387	382	381	405	407	428	416	
採用・教育費	24	12	9	35	18	12	12	
設備・維持費等	127	108	113	111	108	112	110	
広告宣伝費	14	17	16	15	13	14	26	
その他	137	137	115	128	127	131	146	
合計	691	656	634	694	675	699	713	

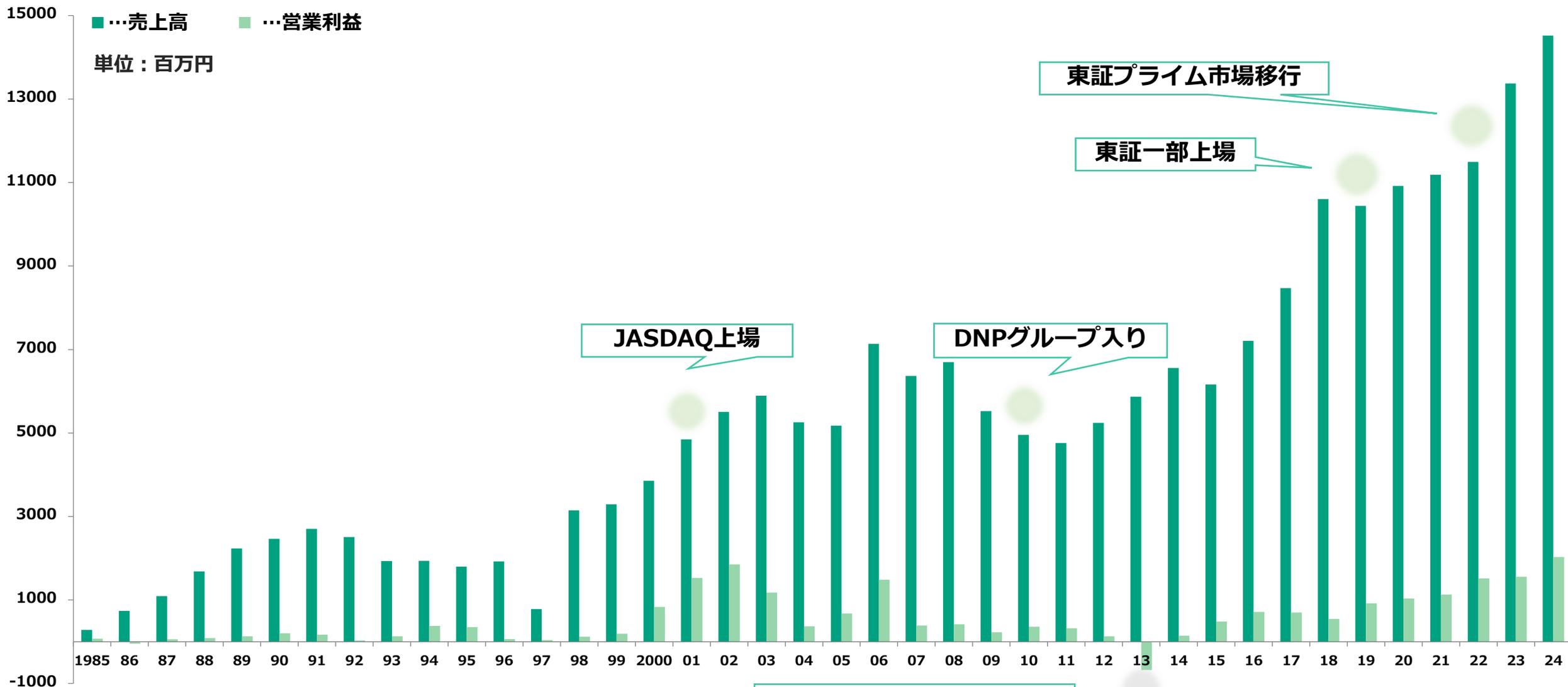
	24年6月期 3Q累計	25年6月期 3Q累計	増減
販管費	1,982	2,088	+105
		人件費	+102
		採用・教育費	△1
		設備・維持費等	△18
		広告宣伝費	+5
		その他	+17

2025年6月期 3Q キャッシュ・フロー

単位：百万円



長期業績推移



※：2015年6月期まで連結業績の数値を掲載
※：1997年は決算期変更に伴い半年分の業績を記載

複数の大型案件が不採算化

参考) 事業領域区分の再定義

従来の事業領域別売上高を、提供する機能別に再編。また当社のコア技術である「データ通信・分析基盤」を活用したビジネスの売上高を分離し、新規事業の早期確立を目指す

- クラウドサービスは、4つのサービスを、提供する機能に分けて計上
- 従来、「決済・金融」内で計上していた証券と新領域ビジネス（放送等）の売上は、「データ通信・分析基盤」に計上
- 決済、セキュリティ領域における新規ビジネスは、各事業領域内で計上

■ (旧) 事業領域別売上高

	24年6月期
売上高	14,518
決済・金融	10,455
FEP・不正検知	5,673
決済システム等	3,973
金融・その他	808
クラウドサービス	2,504
セキュリティ	1,558

■ (新) 事業領域別売上高

	24年6月期	
売上高	14,518	
決済	12,151	
FEP	5,370	NET+1 ■ IGATES
不正検知	1,697	ACEplus ■ IFINDS FARIS
アクワイアリング	3,059	IOASIS ■ IPRETS
その他	2,024	その他、システム開発等
セキュリティ	1,558	
データ通信・分析基盤	808	証券・放送等

参考) 2024年6月期 事業領域別売上高

単位：百万円

24年6月期実績					
	1Q	2Q	3Q	4Q	通期
売上高	3,158	3,787	3,805	3,766	14,518
決済	2,678	3,106	3,176	3,190	12,151
FEP	1,150	1,342	1,568	1,308	5,370
不正検知	385	365	397	548	1,697
アクワイアリング	672	791	744	851	3,059
金融その他	470	607	465	482	2,024
セキュリティ	319	437	449	351	1,558
データ通信・分析基盤	160	243	180	224	808

2025年6月期 業績予想進捗（製品カテゴリ別）

単位：百万円

	24年6月期実績			25年6月期予想			前同比 (通期)
	3Q累計	4Q	通期	3Q累計実績 ※①	4Q計画 (②-①)	通期計画 ※②	
売上高	10,751	3,766	14,518	11,530	4,469	16,000	+10.2%
システム開発	5,114	1,894	7,009	5,135	2,204	7,340	+4.7%
保守	1,210	420	1,630	1,195	394	1,590	△2.5%
自社製品・サービス	229	157	386	346	213	560	+44.8%
他社製品（ハードウェア等）	1,191	236	1,428	863	146	1,010	△29.3%
クラウドサービス	1,799	705	2,504	2,508	891	3,400	+35.7%
セキュリティ	1,207	351	1,558	1,481	618	2,100	+34.8%
営業利益 (率)	1,496 (13.9%)	534 (14.2%)	2,030 (14.0%)	1,445 (12.5%)	804 (18.0%)	2,250 (14.1%)	+10.8%

設立 1984年12月27日 (2024年12月末現在)

所在地 東京都中央区新川1-21-2 茅場町タワー

従業員数 487名

親会社 大日本印刷株式会社 (50.73%*)

資本金 843,750千円

発行済株式数 26,340,000株 株主数 10,848名

株式数比率		株主数比率	
個人・その他	35.41%	個人・その他	98.22%
金融機関	4.25%	金融機関	0.12%
国内法人	51.30%	国内法人	0.48%
外国法人等	6.94%	外国法人等	0.93%
証券会社	1.87%	証券会社	0.24%
自己名義株式	0.23%	自己名義株式	0.01%

*自己株式数を除く発行済み株式数に対する割合



本資料は、当社の会社説明・事業説明に関する情報の提供を目的としたものであり、当社が発行する有価証券の投資を勧誘することを目的としたものではありません。

本資料に記載された意見や予測等は、資料作成時点の当社の判断であり、その情報の正確性、完全性を保証し又は約束するものではなく、また今後、予告なしに変更されることがありますので、ご注意ください。

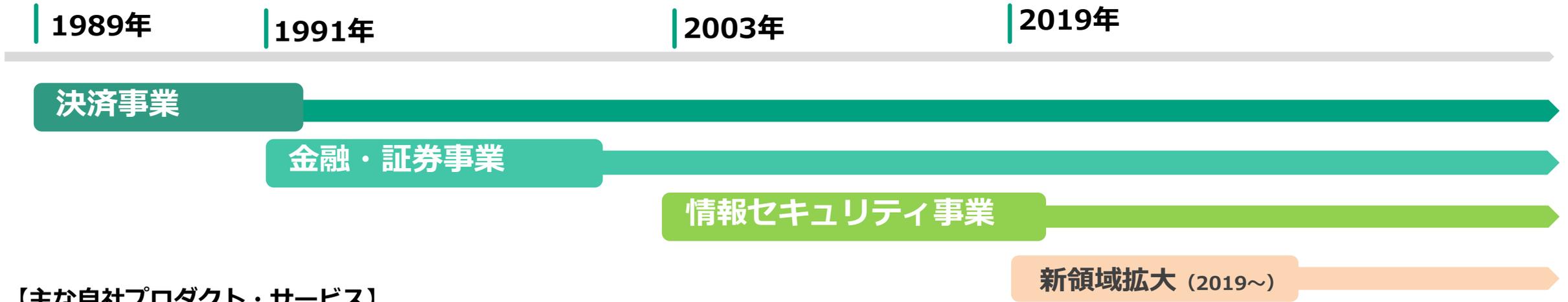
株式会社インテリジェント ウェーブ

経営管理本部 IR・サステナビリティ推進室

E-mail: ir_info@iwi.co.jp

参考) 事業変遷

- ・ 1980年代に、国内における24時間365日オンラインカード決済の実現に貢献
決済ネットワーク接続・認証システム「NET+1」を開発し、トップシェアを獲得
- ・ 高速・大容量のデータ通信・分析技術をコア技術に、自社プロダクトを開発
- ・ 2003年に、内部情報漏洩対策製品「CWAT」を開発し、情報セキュリティ事業に参入



【主な自社プロダクト・サービス】

<p>1989年 決済ネットワーク接続・ 認証システム</p> <p>NET+1 (ネットプラスワン)</p>	<p>1996年 メッセージング ミドルウェア</p> <p>RIX (リックスエージェント)</p>	<p>1999年 カード不正検知 システム</p> <p>ACEplus (エースプラス)</p>	<p>2003年 内部情報漏洩対策製品</p> <p>CWAT (シーワット)</p>	<p>2019年 放送業界向けIP放送 パケット監視ソリューション</p>	<p>2022年 メディアデータ 複合分析ソリューション</p>
			<p>2016年～ 決済システムのクラウドサービス</p> <p>IOASIS™ IFINDS</p>	<p>2022年～ 次世代不正対策 プロジェクト</p>	<p>FARIS (ファリス)</p>

参考) キャッシュレス決済の仕組み

店舗や、ECサイト等において、キャッシュレス決済を利用すると、いくつかの事業会社のシステムを経由し、決済が完了する

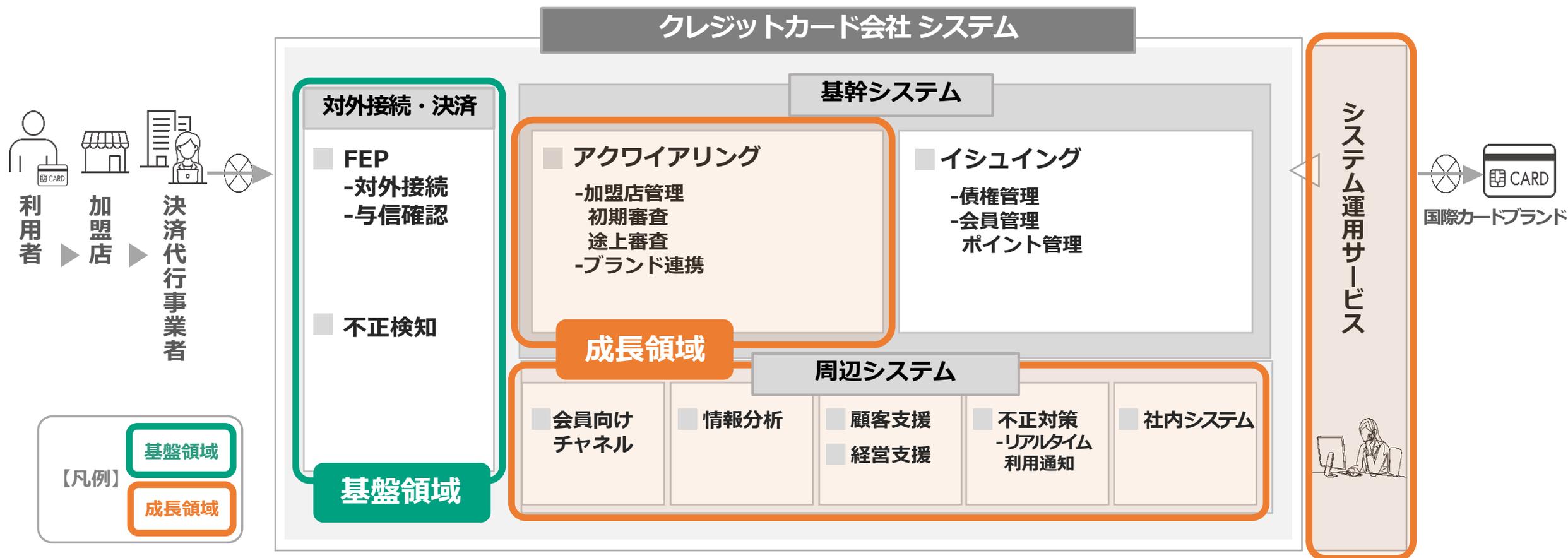
■ 当社領域



※ : 一部ネットワークおよびデータの流れ等を省略しています

参考) クレジットカード会社における当社決済領域

クレジットカード会社システムの対外接続部分において、シェアが高い。
今後は、アクワイアリング分野や、システム運用サービス等を中心に領域拡大を進める



参考) 当社の決済ソリューション

FEP、不正検知、アクワイアリング分野は、自社プロダクト・サービスをベースにシステムを提供

分野	機能	オンプレ開発	クラウドサービス
FEP <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 10px auto;">シェア 70%*</div>	24時間365日無停止で各種決済ネットワークとの接続や、カードの利用認証（オーソリ取引）を実施	<ul style="list-style-type: none"> ■ 決済ネットワーク接続・認証システム NET+1	<ul style="list-style-type: none"> ■ 決済ネットワーク接続・認証サービス
不正検知 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 10px auto;">シェア 60%*</div>	カード利用時に、リアルタイムに不正利用を検知。ルール判定、AIスコアリング等によって不正対策を実施	<ul style="list-style-type: none"> ■ カード不正検知システム ACEplus	<ul style="list-style-type: none"> ■ カード不正検知サービス IFINDS FARIS ■ FARIS 共同スコアリングサービス Powered by PKSHA Security
アクワイアリング	売上管理、加盟店精算等、アクワイアリング事業に必要な全ての機能を提供	<ul style="list-style-type: none"> ■ アクワイアリング業務システム IOASIS™	<ul style="list-style-type: none"> ■ アクワイアリング業務サービス IOASIS™

※クレジットカード会社主要25社における導入社数（当社調べ）

※クラウドサービスの提供も含む

オンプレ開発



- 導入に必要なシステム一式を顧客が保有
一定期間ごとにシステム更改
- 顧客ニーズに応じて柔軟にカスタマイズ可能
- 大手カード会社の高いシェアを保持

クラウドサービス



- 当社が保有するシステムを顧客に提供
月額料金制（複数年契約）
- 初期投資費用が抑えられ、中規模カード会社・新規参入企業などが利用

参考) 当社のセキュリティソリューション

「組織内部からの情報漏洩」と「組織外部からのサイバー攻撃」の双方に、自社製品「CWAT」と海外のサイバーセキュリティ製品を販売。販売についてはDNPグループと協業

分野	機能	製品名
内部情報漏えい対策ソリューション	クライアントPC端末からの情報漏えいを監視。高精度なログ取得により利用状況を「見える化」	<ul style="list-style-type: none"> ■ 内部情報漏えい対策ソフトウェア 
エンドポイントセキュリティ	ランサムウェアなどのマルウェア攻撃からクライアント端末を保護	<ul style="list-style-type: none"> ■ 統合型セキュリティプラットフォーム ■ エンドポイントセキュリティ  
セキュリティインテリジェンス	ダークウェブなどから、組織のリスクとなりうる脅威情報を収集	<ul style="list-style-type: none"> ■ インテリジェンスプラットフォーム 
暗号鍵管 (HSM)	車載ECU向け暗号鍵管理システムを自社開発し、DNPと協業販売	<ul style="list-style-type: none"> ■ 鍵管理アプリケーション製品 
ID管理	SSO(シングルサインオン)や、システムの権限管理、多要素認証などID管理に必要な機能を網羅的に提供	<ul style="list-style-type: none"> ■ ID管理トータルソリューション 